

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 421-01-03

事務事業名		表彰関連事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線4120	
担当部署名		教育総務課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち		款	10	教育費
	施策	2	学校教育		項	1	教育総務費
	施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進		目	1	教育委員会費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童、生徒、職員及び団体					
	目的 (どうしたいか)	教育委員会が表彰するのが適当であると認める成績、業績または行為のあったものを表彰する。					
	手段 (事業内容)	表彰審査会において審議し、毎年11月3日に表彰する。また、必要に応じて、随時表彰する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 表彰記念品代 101千円	
当初予算額	事業費	168	168	150		
決算額	事業費	6	101	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	表彰回数	単位	回	
指標の説明	表彰を行った回数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	1	1	1	
実績	1	1	-	

≪事業の参考数値等≫

【令和3年度表彰内訳】
 学校教育活動功労者表彰 9名
 クラブ活動優良者表彰 6名
 教育長特別表彰 8名

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	表彰件数	単位	件	
指標の説明	表彰を行った件数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	9	23	19	
実績	2	23	-	

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
表彰を行うことで、学校運営の向上や教育行政のより一層の推進ができています。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 421-02-01

事務事業名		小中学校総務管理事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		教育総務課		連絡先		内線4111	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	学校教育		款	10	教育費
	施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進		項	2	小学校費
					目	1	学校管理費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市立小中学校及び義務教育学校					
	目的 (どうしたいか)	小中学校及び義務教育学校の適正かつ円滑な運営管理に努め、児童・生徒及び利用者に快適で安全な学校生活を提供する。					
	手段 (事業内容)	消耗品の購入、校務員の配置など					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】	
当初予算額	事業費	103,706	117,655	120,884	消耗品費(小学校) 20,249千円 校務員業務委託料(小学校) 30,759千円	
決算額	事業費	89,601	97,069	-	消耗品費(中学校) 10,943千円 校務員業務委託料(中学校) 9,450千円	
	特定財源等	1,092	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	校務員の配置日数	単位	日	
指標の説明	校務員を配置した日数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		242	244	243
実績		242	244	-

≪事業の参考数値等≫

【令和3年度学校数】
市立小学校 13校
市立中学校 5校
市立義務教育学校 1校

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	快適で安全な学校生活の提供日数	単位	日	
指標の説明	校務員の配置によって、快適で安全な学校生活を提供できた日数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		242	244	243
実績		242	244	-

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
一定の成果は上がっているが、改善の余地がある。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
学校現場と協議の上、事務処理工程の見直しや電子化の推進など、事務量の軽減化を検討する。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 421-02-02

事務事業名		小中学校物品等管理事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		教育総務課		連絡先		内線4113	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	学校教育		款	10	教育費
	施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進		項	2	小学校費
					目	1	学校管理費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市立小中学校及び義務教育学校					
	目的 (どうしたいか)	小中学校及び義務教育学校の適正かつ円滑な運営管理に努め、児童・生徒及び利用者に快適で安全な学校生活を提供する。					
	手段 (事業内容)	学校備品の購入					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
当初予算額	事業費	59,441	42,495	45,991
決算額	事業費	87,856	36,311	-
	特定財源等	6,305	716	-

≪主な内訳(令和3年度決算)≫

【事業費】
 校具設備備品購入費(小学校) 6,099千円
 義務教育教材備品購入費(小学校) 4,801千円
 校具設備備品購入費(中学校) 3,265千円
 義務教育教材備品購入費(中学校) 2,110千円

【特定財源】
 理科教育費補助金 716千円

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	備品購入計画件数	単位	件	
指標の説明	備品の購入計画件数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	735	674	529	
実績	1,239	763	-	

≪事業の参考数値等≫

【令和3年度学校数】
 市立小学校 13校
 市立中学校 5校
 市立義務教育学校 1校

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	備品購入数	単位	件	
指標の説明	備品を購入した件数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	735	674	529	
実績	1,239	763	-	

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題) 一定の成果は上がっているが、改善の余地がある。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容) 学校現場と協議の上、事務処理工程の見直しや電子化の推進など、事務量の軽減化を検討する。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 421-03-02

事務事業名		学校ICT環境整備事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		教育総務課		連絡先		内線4113	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	学校教育		款	10	教育費
	施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進		項	3	中学校費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒					
	目的 (どうしたいか)	ICT教育環境の充実を図り、児童及び生徒のICT活用能力を高める。					
	手段 (事業内容)	国の促進事業に基づきICT教育の環境整備を図る。※ICT(情報コミュニケーション技術)教育とは、情報技術を用いて、学習者に新しいコミュニケーション環境を提供しようとする教育をいう。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 教育用コンピュータ機器等借上料 小学校:39,896千円 中学校:11,047千円 教育用コンピュータ機器等保守委託料 小学校:9,119千円 中学校:8,470千円 【特定財源】 GIGAスクールサポーター配置促進事業補助金 小学校:45千円 中学校:21千円	
当初予算額	事業費	519,355	101,504	88,077		
決算額	事業費	770,453	96,387	-		
	特定財源等	375,677	66	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	パソコンの整備台数	単位	台	
指標の説明	児童生徒向けのパソコン整備台数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	8,123	0	0	
実績	8,123	8,123	-	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	パソコンの整備割合	単位	%	
指標の説明	生徒児童向けのパソコンを整備した割合			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	100	100	100	
実績	100	100	-	

≪事業の参考数値等≫
 整備台数の基準は、令和元年5月1日時点の児童生徒数(8,123人)

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
文部科学省が打ち出したGIGAスクール構想における「児童生徒向けの1人1台端末整備」及び「高速大容量の通信ネットワーク整備」については、令和3年3月末を以って整備が完了した。 今後は、導入したICT機器の活用や更新等について、学校現場や学校教育課と協議をし、更なるICT教育環境の充実を図るべく検討していく。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
ICT教育環境の向上に必要な機器や研修等について、学校教育課及び学校現場と協議を行い、整備を行う。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 421-04-01

事務事業名		大会出場等助成事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		教育総務課		連絡先		内線4120	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	学校教育		款	10	教育費
	施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進		項	3	中学校費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	生徒及び引率教職員					
	目的 (どうしたいか)	クラブ活動経費の一部を助成することにより、生徒の健全な心身を育み、クラブ活動を奨励する。					
	手段 (事業内容)	中学生がクラブ活動で、日本中学校体育連盟が主催する全国中学校総合体育大会及び近畿中学校体育連盟が主催する近畿中学校総合体育大会に出場したとき、旅費及び宿泊費を助成する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 中学校全国大会・近畿大会出場助成金 713千円	
当初予算額	事業費	500	500	500		
決算額	事業費	0	713	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	助成金交付申請件数	単位	件	
指標の説明	助成金の交付申請があった件数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		0	2	7
実績		0	3	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	助成金交付件数	単位	件	
指標の説明	交付申請に対し、助成金を交付した件数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		0	2	7
実績		0	3	-

≪事業の参考数値等≫

【助成金交付申請内訳】
第61回全国中学校水泳競技大会 1件
第48回全日本中学校陸上競技選手権大会 1件
JOCジュニアオリンピックカップ第52回 U16陸上競技大会 1件

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
全国大会・近畿大会への出場は、クラブ活動の活性化や生徒の健全育成に寄与している。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 421-04-02

事務事業名		中学校プラスバンド助成事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		教育総務課		連絡先		内線4113	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	学校教育		款	10	教育費
	施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進		項	3	中学校費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	中学校及び義務教育学校のプラスバンド部					
	目的 (どうしたいか)	クラブ活動の活性化を図る。					
	手段 (事業内容)	中学校及び義務教育学校のプラスバンド部用楽器の修繕及び購入(隔年)を行う。また、教育委員会後援で市内6中学校共同発表会を年に一度開催する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 修繕費 692千円 義務教育教材備品購入費 1,975千円	
当初予算額	事業費	1,157	3,218	1,178		
決算額	事業費	858	2,987	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	修繕要望件数	単位	件	
指標の説明	楽器の修繕の要望があった件数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	60	60	60	
実績	54	40	-	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	修繕件数	単位	件	
指標の説明	楽器の修繕をした件数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	60	60	60	
実績	54	40	-	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 本事業を通じて、プラスバンド部のクラブ活動の活性化が図られている。		(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 422-01-01

事務事業名		学校施設管理事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線4131	
担当部署名		教育総務課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち		款	10	教育費
	施策	2	学校教育		項	2	小学校費
	施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進		目	1	学校管理費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童、生徒、教職員および地域住民					
	目的 (どうしたいか)	市立小中学校及び義務教育学校施設の使用について安全な教育環境を提供する。					
	手段 (事業内容)	学校運営において経常的に必要となる光熱水費、消耗品費、施設修繕費および保守点検委託費の支出					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
当初予算額	事業費	201,809	239,043	251,176
決算額	事業費	210,464	239,537	-
	特定財源等	0	0	-

≪主な内訳(令和3年度決算)≫

【事業費】	
光熱費	130,088千円
消耗品費	2,863千円
保守点検費	21,460千円
施設修繕費	55,761千円

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	施設修繕実績	単位	件	
指標の説明	学校要望、保守点検等により指摘があった不備案件のうち、修繕対応済みの件数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		300	300	300
実績		278	292	-

≪事業の参考数値等≫

【羽曳野市立学校の数】
・小学校:13校
・中学校:5校
・義務教育学校:1校
合計19校

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	施設修繕の要望等達成率	単位	%	
指標の説明	修繕実績件数÷要望件数×100			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		100.0	100.0	100
実績		77.4	86.9	-

【修繕要望件数】
・令和元年度 359件
・令和2年度 359件
・令和3年度 336件

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
<p>学校教育法により、学校の設置者は、その設置する学校を管理し、その経費を負担することが定められていることから、安全な学校施設を維持することは義務的で優先度の高い事業である。</p> <p>また、学校施設や設備の老朽化に伴い修繕箇所が増加が見込まれ、今後も効率的・効果的に実施していく。</p>	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
施設の老朽化に伴う修繕が増加するため、機能回復を図った棟単位の修繕や設備更新など検討し実施していく。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 422-01-02

事務事業名		学校施設改修事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		教育総務課		連絡先		内線4131	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	学校教育		款	10	教育費
	施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進		項	2	小学校費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童、生徒、教職員および地域住民					
	目的 (どうしたいか)	市立小中学校及び義務教育学校施設の使用について安全な教育環境を提供する。					
	手段 (事業内容)	安全な教育環境を提供するために計画的な学校施設及び設備の改修工事を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】	
当初予算額	事業費	39,040	37,807	100,551	コンクリートブロック塀撤去改修	
決算額	事業費	25,189	26,210	-	<工事費> 21,891千円	
	特定 財源等	24,600	25,100	-	<監理委託料> 2,792千円	
					<実施設計委託料> 1,527千円	

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	事業計画数	単位	件	
指標の説明	1年間における改修工事の計画数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	5	4	4	
実績	5	4	-	

【特定財源】	
地方債	25,100千円

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	完了した事業の数	単位	件	
指標の説明	計画した事業のうち完了した数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	5	4	4	
実績	5	4	-	

≪事業の参考数値等≫	
------------	--

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	完了
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
<p>学校教育法により、学校の設置者は、その設置する学校を管理し、その経費を負担することが定められていることから、安全な学校施設を維持することは義務的で優先度の高い事業である。平成30年度より順次、学校施設にあるコンクリートブロック塀改修工事を実施しており、令和4年度実施分で完了。</p>	

今後の改善内容	
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)	

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 422-01-07

事務事業名		長寿命化改修事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線4131	
担当部署名		教育総務課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち		款	10	教育費
	施策	2	学校教育		項	2	小学校費
	施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進		目	1	学校管理費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童、生徒、教職員および地域住民					
	目的 (どうしたいか)	市立小中学校及び義務教育学校施設の老朽化等の現状を把握し、学校施設マネジメントプラン(長寿命化計画)を総合的かつ計画的に推進するため、進捗管理を行い、安全な教育環境を提供する。					
	手段 (事業内容)	学校施設マネジメントプラン(長寿命化計画)に基づき、老朽化した学校施設の大規模改造及び長寿命化改修を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
当初予算額	事業費	18,520	8,000	23,910
決算額	事業費	12,315	6,006	-
	特定財源等	0	0	-

≪主な内訳(令和3年度決算)≫

【事業費】
羽曳野市立河原城中学校基本計画検討支援業務
委託料 6,006千円

【特定財源】なし

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	長寿命化改修事業の実施学校数	単位	校	
指標の説明	当該年度に長寿命化改修事業(基本計画等含む)を実施した学校数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		1	1	1
実績		1	1	-

≪事業の参考数値等≫

【令和2年3月策定済】
学校施設マネジメントプラン(第1期/全4期各10カ年計画)
【令和2年度】
河原城中学校整備予備調査及び基本計画策定委託業務
【令和3年度予定】
河原城中学校基本計画検討支援業務
【令和4年度予定】
河原城中学校バリアフリー等改修工事基本設計及び実施設計業務

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	長寿命化改修率	単位	%	
指標の説明	長寿命化改修率 = 事業完了した学校数 ÷ 6校 × 100			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		1	1	1
実績		1	1	-

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
<p>本事業は、子どもたちに安全・安心な学習の場を提供することはもとより、学校施設の状況や将来的な需要見通しを踏まえ、中長期的な視点から財政負担を軽減・平準化を図り、効率的・効果的な学校施設の長寿命化を図るため、計画の進捗管理は必要不可欠である。</p> <p>また、老朽化した学校施設の大規模改造及び長寿命化改修を行うことは、安全な教育環境を提供する上で実施意義が非常に高い事業である。</p>	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
<p>子どもたちに安全・安心な教育環境を提供するとともに地域の拠点となる施設であることを鑑み防災機能強化を含む大規模改修及び長寿命化改修を検討する。また更なる財政負担の軽減を図り、効率的・効果的な実施手法を検討する。</p>

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 422-03-01

事務事業名		学校安全対策事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		教育総務課		連絡先		内線4111	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	学校教育		款	10	教育費
	施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進		項	2	小学校費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童					
	目的 (どうしたいか)	校内の学生生活及び登下校時における不審者等からの安全確保を図る。					
	手段 (事業内容)	正門付近に安全管理員を配置し、門扉の施錠、不審者等発見時の通報、来校者確認の受付業務等を行う。また、新入学児童全員に防犯ブザーを無償貸与する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 安全管理員業務委託料 7,429千円	
当初予算額	事業費	8,308	8,446	8,681		
決算額	事業費	7,991	7,518	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	安全管理員配置日数	単位	日	
指標の説明	安全管理員を配置した日数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		202	200	203
実績		220	200	-

≪事業の参考数値等≫
【令和3年度学校数】 市立小学校 13校 市立義務教育学校 1校

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	校内安全達成日数	単位	日	
指標の説明	安全管理員を配置したことによる校内安全達成日数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		202	200	203
実績		220	200	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 児童の安全に関する取組みとして、一定の効果が得られている。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)